

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		COOL JAPAN FOREST構想推進事業		担当部課	部課コード	020200	04-2998-9027											
事業コード		020202		経営企画課														
開始年度		27 年度		終了年度		年度												
グループ		総合戦略推進室																
事業の概要	事業の種類	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加												
	分野別計画・指針	COOL JAPAN FOREST構想																
	関連・類似事業																	
	総合計画の体系	章	総合的に取り組む重点課題		節	所沢ブランドの推進とまちの活性化												
事業開始の背景	平成26年に、旧所沢浄化センター跡地について施設の解体を含めた売却という方法により公募した結果、売却先が株式会社KADOKAWAに決定した。平成27年4月、売却の際の条件だった公共貢献部分について、株式会社KADOKAWAからの「文化の持つ力で」街づくりに挑むという提案を受け、地方創生の先駆的かつ新たな取組として共同で取り組むことになった。																	
	<p>目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)</p> <p>株式会社KADOKAWAと協力して文化事業や企業誘致、統一的な空間演出等を行うなど、産官共同で事業展開を行い、構想に示した「みどり・文化・産業が調和したまち」の実現を目指す。構想推進により、地域経済活性化及び地域ブランド力向上等の効果等が見込まれる。</p> <p>対象(誰を、何を対象としているのか)</p> <table border="1"> <tr> <th>対象数</th> <th>単位</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>全市民</td> <td></td> <td></td> <td>343,067 人</td> </tr> </table> <p>事業の具体的な内容及び実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社KADOKAWAとの推進会議「TEAM START」での協議。 各種調査(交通・環境・ICTインフラ調査、文化棟集客調査、外国人旅行動向調査、地域経済波及効果調査、地域企業・大学・住民等との連携可能性調査)を基礎資料として平成28年3月に「COOL JAPAN FOREST構想」を策定。 啓発事業として、構想ロゴ・構想啓発動画・パンフレット・ノベルティグッズの作成を始め、「COOL JAPAN FOREST構想」街づくりワークショップを3回(平成28年2月7日、9日、14日)、「ところざわ文化創造会議」を1回(平成28年2月17日)開催した。 <p>平成28年3月補正で計上した予算21,596千円については平成28年度に全額繰越し、実施する。</p>							対象数	単位	平成 26 年度	平成 27 年度					全市民		
対象数	単位	平成 26 年度	平成 27 年度															
全市民			343,067 人															
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)												
	予算現額			0	48,812	21,987												
	決算(見込み含む)				48,736													
	(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(人)	(人)	(0.00人)	(0.00人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。											
	正規職員人件費			0	6,928													
	事業費合計			0	55,664													
財源内訳	一般財源			0	6,928	391												
	国・県支出金				48,736	21,596												
	その他()				0	0												
実績	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標										
	活動実績	COOL JAPAN FOREST構想	COOL JAPAN FOREST構想の策定	-	-	策定	-	-										
		TEAM START開催回数	推進会議「TEAM START」開催回数	人	-	4	3	3										
		文化創造会議参加者数	文化創造会議の参加者数	人	-	367	500	3,000										
成果	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標										
	成果指標	COOL JAPAN FOREST構想に対する理解度	ワークショップや文化創造会議参加者へのアンケートで「COOL JAPAN FOREST構想」の内容を理解いただいた人の割合	%	目標値	-	100	100	100									
					実績	-	84	100	100									
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	-	84	どちらかをチェックしてください											
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析													
	構想を策定することで市と株式会社KADOKAWA、双方の役割を整理した。また、市内部における推進体制を強化するため、庁内組織「所沢市TEAM START本部」の平成28年4月発足に向けた調整を行った。				文化創造会議での構想の説明時間を十分に取れなかったことも理由のひとつと考えられるが、そういった場だけでなくあらゆる機会を通じて広く周知していく必要がある。													
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	理由	市全体で取り組んでいる大きなプロジェクトであり、継続して取り組む必要がある。説明会等での市民からの意見や事業実績等を踏まえ、より効果的な内容に改善しながら取り組んでいく。											
		<input type="checkbox"/> 終了		<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化	<input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> その他	市のブランド力向上及び産業振興に将来的に大きな効果が見込める構想であり、構想推進に関する事業は引き続き実施していく必要がある。										
評価	評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性												
		構想推進に関する協定を株KADOKAWAと締結した。文化フェアや戦国滝の城まつり、と秋フェスタなどの地域イベントとの連携や、文化創造会議の開催、動画等による情報発信を行い、COOL JAPAN FOREST構想の周知・啓発を実施している。また、外国人観光客受入体制整備として、多言語観光ガイドの作成等を予定している。				2020年の(仮称)ところざわサクラタウンオープンに向けては、継続して市内内外への周知・啓発に努めるとともに、あらゆる機会を活用して情報発信を行っていく。また関係部署とも連携・協力し、必要な体制整備について取り組んでいく。												
評価日	H28.8.10		評価者職氏名	総合戦略推進室長 市川 勝也														
環境影響	有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	文章等の作成		規制を受ける環境法令等	無										
							緊急事態	無										